

你好！

中国・天津日本人学校
から

こんにちは！

第1号 2018. 4. 30



北鯖石小学校の皆さん、こんにちは！ 1年生のみなさんは、「はじめまして！」ですね。昨年まで北鯖石小学校にいた和田泉といいます。4月から、中国の天津日本人学校にいます。「ESD マン」の皆さんに、ぜひここ中国や天津のこと、日本人学校のことなども、いろいろ知ってほしいなあと思っています。時々お便りを送りますので、読んでもらえたらうれしいです。 皆さんも聞きたいことがあったら、どんどん質問してくださいね！



1回目は、「天津」と「天津日本人学校」のことを少し紹介しますね。

「天津(てんしん)」って、中国のど

こにあるかわかりますか？左の中国の地図で、○で囲んだところです。緯度は、日本の東北地方と同じくらいです。(冬は、川が凍るくらい寒くなるそうです。)大きさは、秋田県と同じくらいです。中国は、全部で34の区分に分かれています。天津の広さはその中で31位、大きく広い

中国の中では、小さい区になります。それでも、およそ1550万人(2015年調査)、東京の人口より200万人も多い人が住んでいます。朝や夕方は車や人、バイクで道がいっぱいになっています。

まるばつ
○×クイ〜ズ！

天津は日本より雨の日が多い。○か×か！

(答えを考えたから下を読んでね～！)

日本の平均年間降水量(1年で降る雨の量の平均)は1874mm。
天津は…665mm。日本のだいたい3分の1くらいですね。正解は×でした。確かに、こちらに来て天気の日ばかり続いています。空気も乾燥しています。部屋の中に干していても、洗濯物も1日で乾いてしまうんですよ。



つづいて、「**天津日本人学校**」について紹介します！

天津に住んでいる日本人の子ども達が勉強する学校です。1つの校舎の中で、小学生と中学生と一緒に生活しています。

4月11日に入学式があったのですが、小学校、中学校で一緒に行われました。小学生が137人、中学生が23人で、全校160人です。



でも、転校してくる子、転校して

いく子が多く、人数はよく変わります。先日も日本へ帰る子が2名いたので、全校で送る会をしたところでした。



北鯖石小学校の「ファミリー」みたいな縦割り班もあって、ここでは中学生までが一緒になってグループになって活動しています。掃除も一緒にやっていますよ。みんな仲良しです。教える先生たちも、小学生と中学生の教室を行ったり来たり、どちらも教えています。わたしもなんと！中学生の音楽を教えています。3年生29名のクラスと、小学校1年生から、中学校3年生までの音楽全部出ているので、全校のみんなとかかわっています。教科ごとにいろいろな先生が教えているので、おもしろいですよ。勉強している内容は、日本の小学校と同じですが、他に「中国語」も勉強するんですよ。私はまだまだ中国語がわからないので、一緒にがんばって勉強したいと思っています。



天津日本人学校で、授業の間の

休憩時間は15分である。Oか×か！

小学生は授業1回が45分、中学生は50分なので、同時に始っても終わる時刻が違ってきます。次の授業が同時に開始できるように、1時間1時間の間の休憩が15分（中学生は10分）あります。 Oが正解です。

体育館や運動場へ出たり、廊下にある卓球台で卓球をしたり、読書をしたり、とみんな思い思いに過ごしています。5分前に片付けて、2分前には席について準備していると



いうルールを守って、楽しく過ごしています。